



# ホ タ ル

平成29年11月17日発行  
八戸市立白銀南小学校  
TEL 33-1126

## 創立30周年記念式典に向けて

校長 高谷 信行

校地内のサクラやイチョウの木もすっかり葉を落とし、季節は秋から冬へと変わり始めています。先日テレビにオリンピックで活躍した八戸出身の伊調選手について、その名前のルーツを探るといふ番組が入っていました。新郷村のお寺の大きな銀杏の木に由来しているそうなのですが、伊はその地を治める、調はイチョウの葉がカサカサと音を立てて落ちる様を表しているとのこと。本校の玄関前にあるイチョウの木も冬支度を急いでか、音を聞く間もなくあっという間に寒樹になりました。

さて、いよいよ11月25日には、本校の創立30周年記念式典が挙行されます。これまで運動会や学習発表会では、子どもたちが30周年をお祝いした種目や演目を行ってきました。運動会での全校児童による風船飛ばしは、今も鮮明に目に浮かびます。また、記念事業として校舎内環境整備・廊下のワックスがけや校庭への低鉄棒の設置、校地内歩行路の整備等を行ってきました。また、年度末には児童文集と併せた記念誌を発行したいと準備を進めております。

本校の歴史を少しひも解いてみますと、本校は昭和63年に白銀小学校、白鷗小学校より分離独立して開校しました。白銀・白鷗それぞれの小学校では、ともに千人を超えるマンモス校であったため、ここ白銀の南の丘に児童数747名で白銀南小学校として開校されました。学校区は、古くから歴史を刻む大久保町内と、新しく団地が造成された白銀台・岬台・長沢・平庭等の町内とが一緒になり、たくさんの人の手で新しい学校づくりが始まりました。その後、白銀南中学校、白銀南公民館が一つ所に建てられ、市内でもまれにみる地域と学校がともに深く連携して子育てをしていくところとなりました。式典には、全児童が参加してお祝いします。

毎月1回程度、表彰朝会を行っています。これは、学校で応募する絵画展や作品展での入賞や、部活動等団体での活躍を全校の前で表彰し紹介するものです。なかでも、吹奏楽部は、青森県大会を勝ち抜き2度の東北大会に出場しました。「吹奏楽コンクール東北大会 銀賞」、「小学校バンドフェスティバル東北大会 銅賞」と輝きました。本当におめでとう。

また、他の部活動もこれまでの練習を生かし、チームが一つにまとまって他校の児童と対戦するなど、普段ではなかなかできない体験をしています。子どもの送迎、見守り等たくさんの支援をいただいている保護者の皆様に深く感謝いたします。